

第 1 7 期 図書館運営 3 か年計画

2 0 2 5 - 2 0 2 7

(令和 7 年度～令和 9 年度)

置 戸 町 立 図 書 館

1. 第17期計画の策定にあたって

(はじめに)

現図書館は、平成17(2005)年1月18日、生涯学習情報センターとして開館し、その後10年を経て平成27年4月に「置戸町立図書館」に名称を戻し、令和7(2025)年1月に開館20年を迎えました。これは、同時に農村モデル図書館として全国で7カ所のみ指定を受け単独館として再出発してから60年、やまびこ号の運行開始からも60年が経過したことを意味します。

図書館運営計画は、この旧図書館時代の昭和46(1971)年に第一期計画が策定され、以来一貫して地域の人々の暮らしに役立つ図書館のあり方を求めて様々な取り組みが行われてきたところです。

施設の名称を変更せざるを得なかった時期も含めて、図書館としての基本に徹した運営を進めるための指針を定めた運営計画は、旧図書館時代から現在まで、3年ごとに今後3年間の重点課題を設定してきたもので、現在までを通算し、今期は第17期となります。

現図書館の開館から20年を経た今期は、開館当初の原点に立ち返りつつ、現在の課題に向き合うことが求められます。

(第16期計画の3年間～令和4・5・6年度)

本計画に先立つ第16期計画は、令和2(2020)年2月に始まった新型コロナウイルス感染症拡大とその対応に伴う臨時休館をはじめとする様々な制約により、来館者や貸出総数が大きく落ち込んだ後の、令和4年度から6年度までの3年間でした。

【利用の状況】

「コロナ禍を超えて、図書館利用は回復したのか」の検証は、16期計画を評価する重要な指標の一つと言えます。

以下、具体的な数字を挙げてみます。

①来館者数 (/人口) [人]

(H30) 18,135/2,920 人→(R元) 15,805→(R2) 11,205→(R3) 10,436→(R4) 11,544→(R5) 12,946→(R6) 13,499/2,565 人

* R3を底値として徐々に回復してきているが、コロナ前のH30とR6を比較すると25.6%の減(人口は12.2%、355人減)

②本館の貸出冊数 [冊]

(H30) 42,573→(R元) 37,901→(R2) 38,311→(R3) 37,432→(R4) 36,373→(R5) 34,999→(R6) 32,838

*コロナ前のH30とR5を比較すると、18%の減(82.2%)

③やまびこ号の貸出冊数 [冊]

(H30) 1,871→(R元) 2,388→(R2) 2,331→(R3) 2,616→(R4) 1,502→(R5) 1,779冊→(R6) 2,246冊

* R4年度より個人ステーションを基本廃止、代わって住民センター、高校、

旧図書館前等を増やしたが、個人ステーション廃止の影響はあると推測される
⇒個人への対応として「宅配サービス」を再周知しているが、利用は低調

- * もう一つの要因は、やまびこ号の主要利用者である子ども（小学生）の減少
〈参考〉小中学生の人数の変遷〔人〕

(H23) 140+76=216→(H25) 130+69=199→(H30) 118+50=168→(R3) 112+56=168→
(R4) 119+56=175→(R5) 117+61=178→(R6) 110+58=168

④町内登録者のうちの実利用人数（/人口）〔人〕

(H19) 1104/3577[30.9%]→(H20) 1168/3503[33.3%]*ピーク→(H25) 892/3247[27.5%]
→(R3) 629/2733[23.0%]→(R5) 595/2620[22.7%]→(R6) 592/2565[23.1%]

- * 開館から4年目のピーク時 33.3%、R6年度 23.1%

人口減少が続くなかでも、図書館利用は漸減という状況が長く続いていましたが、コロナ禍での「新しい生活スタイル」の浸透により、家で多くの時間を過ごすことが慣例化しました。合わせて、これまで図書館を利用していた高齢の方たちが体力・体調面で来館できなくなったり読めなくなったりして減少した利用は十分には回復していません。

図書館としては、まずは来館者を増やすこと、これまで図書館に来ていなかった人に足を運んでもらうこと、そこから本や雑誌の利用につながることを企図して様々な事業に取り組みました。

事業が行われた日の来館者数は、それ以外の日よりも確実に多くなりますが、年間トータルの来館者数の増加にまではつながっていません。

【各事業の取り組み】

① 記念事業の実施

第16期中の令和5年度に、昭和28年の図書館条例制定から70年、6年度は現在地での開館から20年、移動図書館車やまびこ号の運行開始から60年となることから、それぞれ記念事業を実施しました。

また、令和5年度末には「図書館報 第28号」を発刊しました。

② 「子どもおはなし大会」

置戸町独自の読書月間と定めた2月に実施してきた「子どもおはなし大会」は、令和4年度に通算50回となったことから、記念事業の位置づけで、小学生部門以外に年齢を問わず大人や家族に参加してもらう一般部門を設けて開催しました。

続く令和5年度・6年度も、条例制定70年、開館20年記念として、同様に一般部門を設け、多くの参加を得て実施することができました。

また、コロナ禍のため会場を中央公民館に変更して実施せざるを得ない状況が数年続きましたが、令和5年度より図書館に戻し、ロビーを使って行いました。

③ 「図書館まつり」

コロナ禍の影響で、飲食や大人数が集まることが制限された令和2年度から5年度にかけて休止とした図書館まつりを、令和6年度、5年ぶりに再開しました。

置戸高校に協力を呼びかけ、10人を超える高校生が図書館協議会委員と共に運営協力に当たってくれました。

④ 夜間開館の継続実施と事業の開催

令和4年度は、夏まつりの前日と秋の読書週間に合わせて8月と11月に夜間開館を実施しました。5年度は4月・5月・9月・10月・11月の計5回、5月以降は映画上映会や図書館講座などを夜間開館中に実施することで利用につながることを企図しました。

更に6年度は5月以降の毎月1回、原則金曜日の夜間開館を定例化し、前年度同様に10回のうち8回は持ち込み企画を含む事業の実施と合わせて開館し、利用の定着と拡大を目指しましたが、冬期間の利用は低調でした。

【学校・学校図書室との連携】

令和4年度より3年間、地域おこし協力隊員による学校巡回司書が配置されました。小中学校に週2日ずつ勤務する体制が確立されたことにより、図書館と学校図書室との連携に非常に大きな成果が見られました。

令和5年度からは、小学校新1年生への図書館利用案内を開始したり、子どもたちにとって身近な学校図書室の充実を支援しながら、同時に図書館への来館を促す事業を一緒に取り組むことができています。

子どもたちの身近な読書環境が改善された一方で、令和3年度以降、ギガスクール構想によって導入された「一人1台のタブレット端末」の配布と利用の増進により、本離れ、読書離れに拍車のかかる懸念もあります。小中学生総数の減少と相まって、図書館や学校図書室の貸出利用が低迷しているのが実情です。

【「置戸の歴史を語る」再開と収録】

平成29年度以降休止していた聞き取り作業を、令和5年9月に再開し、5年度中に5人、6年度中に2人の聞き取り・収録を実施しました。6年度中に予定しながら延期となった方たちの分は、7年度以降に継続していきます。

また、令和6年3月、6年ぶりに作成した「図書館報 第28号」に、齊藤誠元町長のインタビューを収録しています（収録日は平成21年12月11日）。

【図書資料整備基金への寄付】

令和3年度、町の「ふるさと応援寄付金」に「図書資料整備事業」が設定され、毎年町外から寄付が寄せられています。これらは町内からの寄付と合わせて図書資料整備基金に積み立てられ、図書購入費の一部に充当されています。

こうした寄付は図書館への注目や期待、応援と受け止め、それに応えていくことが求められます。

令和3年度：17件 292,000円（総額343,980円）

〃 4年度：23件 395,000円（〃 491,300円）

〃 5年度：24件 410,000円（〃 510,730円）

〃 6年度：20件 534,000円（〃 597,213円）

2. 第17期計画基本方針

図書館は、地域に根づき、日常の暮らしの中で役に立つ存在であることが最も基本となるところです。

令和7年度からスタートする17期計画の3年間は、特段の記念事業等の予定はありません。人口減少の続くなか、図書館利用者の減少も避けられない状況が続きますが、16期計画に引き続き、この豊かな空間を地域のあらゆる世代の皆さんに気軽に訪れてもらえるよう、様々な工夫をし、利用の増進につなげることをめざします。

長期的視点で地域の歴史を残すことに寄与することを大切にしながら、基本に則った運営に日々努めます。

- (1) 町民の生活や地域の課題解決に役立つ資料の充実を図る
- (2) 町民だれもが気軽に利用し、読書に親しめる環境整備と運営に努める
- (3) 移動図書館車と宅配サービスの柔軟な運用により、全域サービスを推進する
- (4) 住民の自主的で多様な学習・創作活動を支援する

3. 重点目標

(1) 置戸に暮らす人たちに愛着を持って利用してもらえる図書館、気軽に来館してもらえる図書館、暮らしに役立つ図書館となれるよう、町民を大切にした運営を継続します。

(2) 地域資料の収集・保存と整理を進め、優先度の高いものからデジタルデータ化を行い、更にデジタル化した地域資料の利活用を進めます。

(3) 地域の歴史を長期的な視野で保存していくため、「歴史を語る」事業による聞き取り作業を継続します。

(4) 就学前の子どもたちに本との出会いの機会をつくるため、ファーストブックプレゼント事業並びにフォローアップ事業を積極的に活用し、親子で来館し、利用してもらえる環境づくりに努めます。

(5) 学校巡回司書と連携して、学校図書室の環境整備を支援すると共に、子どもたちが本に親しむ様々な取り組みを推進します。

(6) 図書館への来館が困難となっている方たちに対して、移動図書館車や宅配サービスにより、届けるサービスの周知と充実を図ります。

(7) 長期的な視野と現代的課題やテーマ、身近な課題・興味関心に応える選書に努めると共に、読書会の開催など本に親しんでもらう多様な事業に工夫して取り組みます。

(8) 本探しのお手伝いを積極的に行い、本と利用者をつなぐ役割を果たすと共に、レファレンスサービス（探しもののお手伝い）の周知と推進を図ります。

(9) 学校やこどもセンター、公民館や地域福祉センター、老人ホーム等との連携を密にし、団体利用の受け入れを積極的に行うと共に、共催・協力事業により図書館利用の働きかけを進めます。

(10) 町内で活動する団体やサークル等呼びかけ、新たな協力事業を企画します。

(11) 「持ち込み企画」の奨励と積極的な支援を通して、地域内のつながりや多様な活動、学びの場づくりを進めます。

(12) 生涯学習だよりやホームページ、SNS等を活用し、情報の発信と伝達のあり方を工夫します。

4. 資料の収集と管理

(1) 蔵書計画

・開館当初に想定した収容能力は9万冊でしたが、令和6年度末時点の蔵書冊数は約123,000冊となっています。

適切な除架・除籍を行い、見やすい書架の状態を保つよう努めます。

区 分	令和7年度	令和8年度	令和9年度
購入冊数	3,800冊	3,800冊	3,800冊
寄贈冊数	200冊	200冊	200冊
除籍冊数	4,000冊	4,000冊	4,000冊
蔵書冊数	122,000冊	122,000冊	122,000冊
資料購入費	7,000千円	7,000千円	7,000千円
内基金繰入金	2,000千円	2,000千円	2,000千円

- ・資料購入単価は、前期計画時より100円アップの1,850円で推計
- ・図書購入費は令和2年度まで850万円、令和3年度から700万円となり、16期計画での年間購入予定冊数は4千冊としたが、物価上昇により6年度の購入冊数は4千冊に届かなかったため、今期は3800冊を想定した
- ・書籍の選択は「資料収集方針」に基づいて行うと共に、利用者からのリクエストに応え、地域や住民の暮らしに役立つ資料を積極的に収集する
(詳細は(3)の分類別購入計画による)
- ・除籍は「業務基準」に基づき実施する
- ・図書資料整備基金からの繰り入れは、毎年度200万円を上限とする

(2) 資料の種類

- (ア) 書籍 (一般図書)
- (イ) 地域資料
- (ウ) 逐次刊行物【新聞】
- (エ) 逐次刊行物【雑誌】
- (オ) 紙芝居
- (カ) 視聴覚資料

- ・地域資料は、町内で刊行された冊子や行政資料、置戸関連の新聞記事をはじめ、地域の生活や諸活動に関する物を広く収集保存し、活用に供する
- ・新聞は、令和6年度現在の6紙を維持する
(全国紙3紙、道内紙1紙、地元紙1紙、その他1紙)
※地元紙の置戸タイムスが休刊となった分の代わりに訓子府新報を購読する
- ・雑誌は読書への導入の役目を果たし得ることから80タイトル以上を堅持し、利用の状況等に応じ、適宜収集タイトルの見直しを行う

(3) 図書の分類別購入計画

[冊]

分 類	R7	R8	R9	今期計画 3ヶ年計	16期計画 3ヶ年計	16期計画 3ヶ年実績
K.H.郷土・北海道関係資料	10	10	10	30	30	19
0.総記	70	70	70	210	120	200
1.宗教・哲学・心理学	80	80	80	240	195	243
2.地理・歴史・伝記	210	210	210	630	540	582
3.政治・経済・福祉・教育	425	425	425	1,275	1,200	1,199
4.自然科学	245	245	245	735	720	719
5.工学・建築・家事・暮らし	270	270	270	810	900	893
6.産業・農林水産業	180	180	180	540	570	482
7.芸術・スポーツ・工芸	230	230	230	690	750	676
8.ことば	40	40	40	120	90	98
9.文学	820	820	820	2,460	2,790	2,264
E.J.絵本・児童書	1,150	1,150	1,150	3,450	3,870	3,802
PS.紙芝居	30	30	30	90	90	84
V.視聴覚資料	40	40	40	120	135	61
計	3,800	3,800	3,800	11,400	12,000	11,322

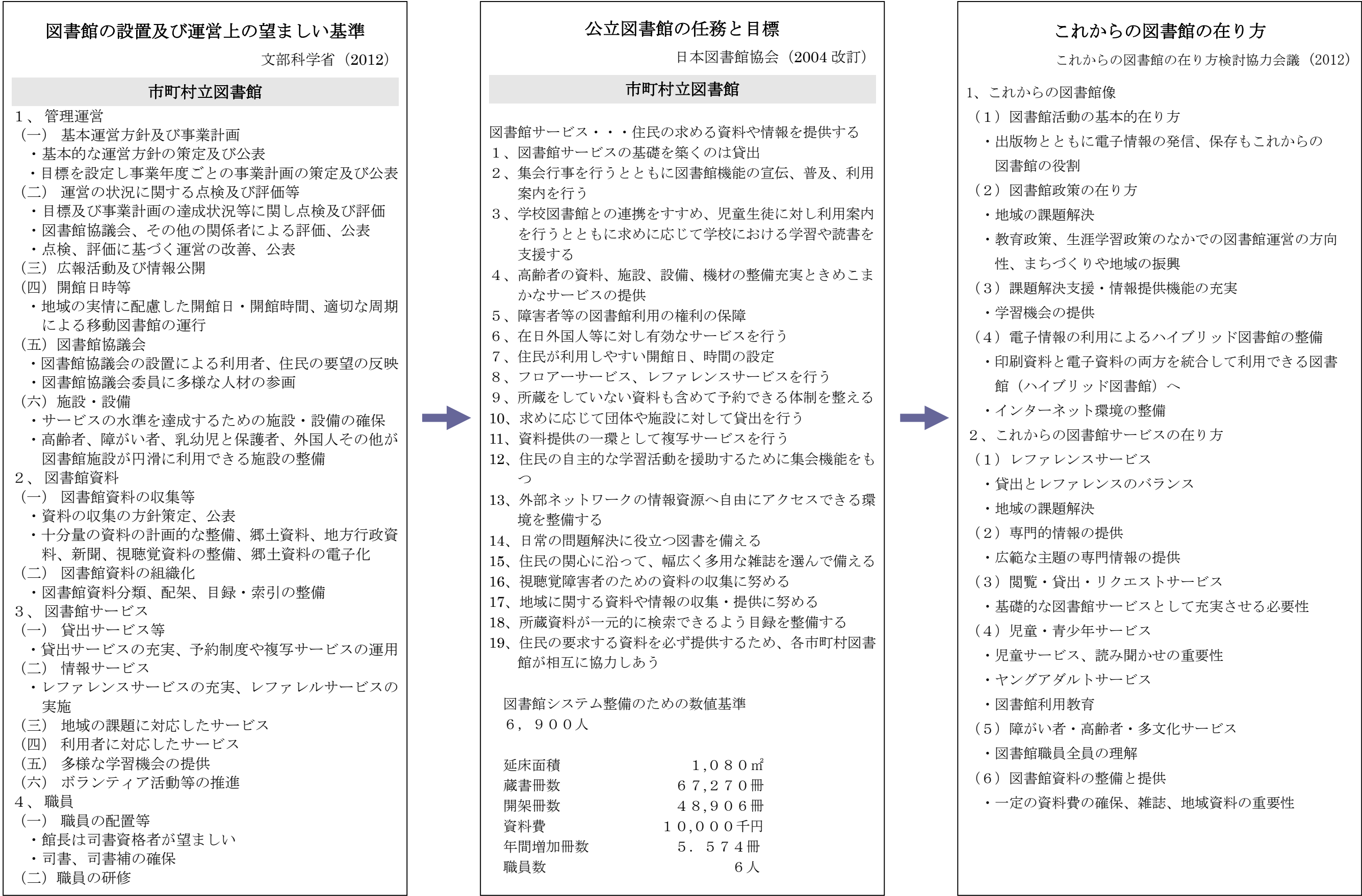
※児童書の購入は3割、文学は2割を目安とする

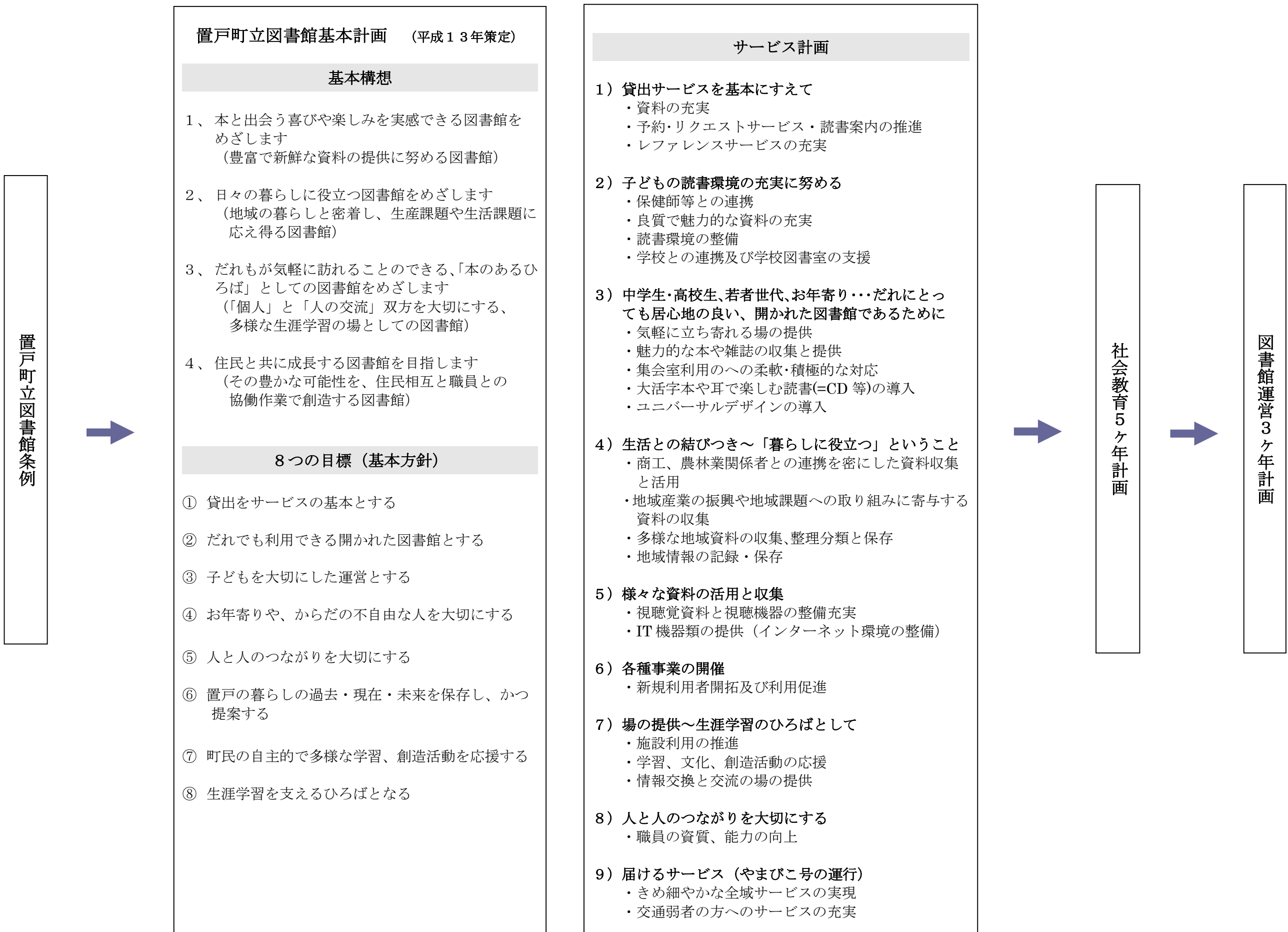
(4) 資料の管理

- ・日常的な配架・除架・除籍作業により、利用しやすい書架づくりに努める
- ・長期延滞本の督促を、年2回の督促状の発送と日常の点検によって徹底する
- ・毎年、蔵書点検を実施する

資 料

1. 計画の体系（資料 1－1 資料 1－2）
2. 第 1 2 次社会教育 5 か年計画抜粋
3. 図書館・生涯学習情報センター利用概況
4. 資料の購入計画・実績一覧





2 第12次社会教育5か年計画（2025～2029年度）（抜粋）

1) 社会教育目標 「思いやりの輪をひろげ、未来に向けてたがいに学びあい、彩りある豊かなふるさとをつくりましょう」

2) 基本方針

お 思いやりと笑顔にあふれたふるさとづくりを進めます
け 健全な心を育み、学びあいの場をひろげ、新しい地域文化の創造を図ります
と 特色や個性を活かし、生きがいと喜びを分かち合い、つながりと彩りある地域づくりを推進します

3) 重点目標

- ① 一人ひとりの主体性を尊重し、生涯を通した多様な学びを支えます
- ② 思いやりの心を育み、みんなで力を合わせて未来をのぞむ人づくりを推進します
- ③ 学びあいの輪を広げ、生きがいと喜びを共有できるつながりづくりを推進します
- ④ 豊かな資源を活かして地域文化を振興し、彩りあるふるさとづくりを推進します
- ⑤ 学びを支える環境を整え、相談機能や職員体制の充実を図ります

[以下、図書館関係部分を抜粋]

重点目標① 一人ひとりの主体性を尊重し、生涯を通した多様な学びを支えます

【設定理由】

学びや知識の習得には読むという行為が不可欠です。本を読むことで、私たちは言葉を学び、感性を磨き、表現力や想像力を豊かにすることができます。インターネットやスマートフォンの普及、GIGAスクール構想により小学生に一人一台のタブレットが配布されるなど、本離れ・読書離れに拍車のかかる傾向が顕著です。

図書館では、子ども時代に本と出会い、本の世界の楽しさを知ってもらうため関係機関や学校巡回司書と連携しながら、各年齢期に合わせた内容の事業を引き続き展開します。

大人の学びに対しても、個々が必要とするあらゆる情報を適切に入手することができるよう、幅広く新鮮な資料の収集と提供に努めると共に、余暇や趣味の活動も積極的に支援し、地域文化の創造を支えます。

また、各分野の本を活用した講座や置戸の歴史にふれる講座、地域を考える講座等を実施すると共に、誰もが気軽に図書館へ足を運んでもらえる事業を工夫して実施します。

【基本施策】

1. 誰もが学びに親しむ機会の充実を図ります

- ・移動図書館車やまびこ号の運行による図書館全域サービスの実施
- ・本との出会いの入り口となる「ファーストブックプレゼント」事業の実施
- ・小学校入学前幼児を対象としたお勧め絵本ブックリストの周知と活用
- ・学校巡回司書と協力し、子どもたちが本に親しむ環境づくりと各種事業の実施
- ・さまざまな本の世界に出会い、本の楽しさを味わう読書会や朗読会、輪読会などの実施

2. 学びや暮らしの課題解決の手助けとなる学習環境の充実を図ります

- ・暮らしに役立つ各分野の資料の収集と提供
- ・大活字本やバリアフリー対応の映像資料、多ジャンルの雑誌など、誰もが利用しやすい資料の整備・充実
- ・わからないこと・知りたいことを調べるための情報収集を手助けするレファレンスサービスの周知、充実

- ・ 置戸に関する新聞・雑誌記事、映像や写真、行政資料など地域資料の積極的な収集と保存
- ・ 貴重な地域資料のデジタル化による保存およびそれらの有効活用
- ・ 各施設と連携した、関連図書の有効活用

重点目標② 思いやりの心を育み、みんなで力を合わせて未来をのぞむ人づくりを推進します（人づくり）

【設定理由】

図書館は「民主主義の学校」とも言われます。人々の知る権利を社会的に保障することに責任を負うのが図書館です。

地域の人たちが必要とする資料をいつでも入手し利用できるよう、幅広く新鮮な蔵書を備え、個々人が自分の考えを確かなものにし、自分で判断することのできる自律した存在となることを支えます。

【基本施策】

3. 思いを共有する仲間づくりを推進します

- ・ 住民の自主学習や創作活動の支援（展示や講座、研修会、ミニ演奏会など）および公民館や図書館における「町民持ち込み企画」の運営支援

重点目標③ 学びあいの輪を広げ、生きがいと喜びを共有できるつながりづくりを推進します（学びあい）

【設定理由】

森林工芸館や郷土資料館が行う出前講座・展示や、移動図書館車やまびこ号の運行による図書館の全域サービス、各地区公民館での地域の特色ある取り組みなどは、「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる権利を守るものです。今後も事業の継続と充実を図ります。

【基本施策】

1. 学ぶ楽しさを共有し、仲間づくりをすすめる多様な学習機会の提供を図ります

- ・ 公民館や図書館などでの講座で、地域の特色や自分の個性を活かした学習成果を発揮できる場や、学習者同士の交流する場の確保に努める

重点目標⑤ 学びを支える環境を整え、相談機能や職員体制の充実を図ります（環境整備）

【設定理由】

図書館は、開館当初から掲げる、貸出サービス・全域サービス・児童サービスを基本に、暮らしに役立つ各分野の資料や、地域課題を捉えた資料を収集し、新鮮でかりやすい配架やテーマ展示を工夫しながら、多くの本と出会ってもらう機会の提供を継続します。

5代目となる現在の移動図書館車は、運行開始から24年が経過しています。車内に乗り込み、2000冊の中から読みたい本を自分で選べる現在規模のサイズで更新することが、全域サービスの実現・継続の上からも極めて重要です。

【基本施策】

1. 社会教育施設等の計画的な整備・改修に努めます

- ・ 図書館の根幹である全域サービスに不可欠なやまびこ号の更新

2. 社会教育関係委員の研修や、職員の学習相談の充実を図ります

- ・ 社会教育施設への専門職（社会教育主事、司書、どま工房研究員などの学芸員）の計画的な配置と資格取得の推奨
- ・ 4館会議など、職員間で各施設ごとの取り組みを定期的に情報共有し、有機的な事業連携の方法を模索する

3. 図書館・生涯学習情報センター利用概況

【基礎数値】	R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度	R 3 年度	R 2 年度	R元年度	H30年度	H29年度
①人口(4.1現在)	2,565 人	2,620 人	2,699 人	2,733 人	2,797 人	2,872 人	2,920 人	2,999 人
②新規登録者数	101 人 (町内42・町外59)	118 人 (町内59・町外59)	96 人 (町内62・町外34)	118 人 (町内74・町外44)	116 人 (町内64・町外52)	95 人 (町内34・町外61)	156 人 (町内112・町外44)	101 人 (町内65・町外36)
③登録者総数	1,546 人 (町内1,131・町外415)	1,537 人 (町内1,118・町外419)	1,613 人 (町内1,234・町外379)	1,658 人 (町内1,245・町外413)	1,633 人 (町内1,207・町外426)	1,721 人 (町内1,258・町外463)	2,299 人 (町内1,642・町外657)	2,303 人 (町内1,564・町外739)
④延利用人数 () 内は本館・やまびこ号の内訳	7,669 人 (本6,675・や994)	7,745 人 (本6,901・や844)	7,772 人 (本7,143・や629)	8,162 人 (本7,337・や825)	8,225 人 (本7,515・や710)	9,325 人 (本8,452・や873)	10,551 人 (本9,752・や799)	10,338 人 (本9,630・や708)
⑤本館来館者数	13,499 人	12,946 人	11,544 人	10,436 人	11,205 人	15,805 人	18,135 人	18,380 人
⑥貸出冊数～個人利用分～ () 内は本館・やまびこ号の内訳	35,084 冊 (本32,838・や2,246)	36,778 冊 (本34,999・や1,779)	37,875 冊 (本36,373・や1,502)	40,048 冊 (本37,432・や2,616)	40,642 冊 (本38,311・や2,331)	40,289 冊 (本37,901・や2,388)	44,444 冊 (本42,573・や1,871)	42,893 冊 (本41,428・や1,465)
⑦団体貸出	9,746 冊	9,074 冊	9,049 冊	7,722 冊	8,990 冊	9,288 冊	9,988 冊	9,409 冊
⑧蔵書総数 (配架ごとの概数:開架一般書60,915・準開架21,677、 開架児童書27,131・準開架10,464 開架視聴覚2,327・準開架122)	122,636 冊	121,759 冊	122,412 冊	121,433 冊	122,127 冊	122,156 冊	120,828 冊	120,753 冊
⑨図書購入総数	3,499 冊	3,890 冊	3,933 冊	4,029 冊	5,078 冊	5,145 冊	5,311 冊	5,251 冊
⑩図書購入平均単価	2,001 円	1,799 円	1,780 円	1,827 円	1,674 円	1,651 円	1,600 円	1,617 円
⑪図書購入費(書籍および視聴覚資料)	6,999,968 円	6,999,992 円	6,999,934 円	7,359,862 円	8,499,906 円	8,496,643 円	8,496,604 円	8,494,908 円
⑫その他資料購入費(紙芝居・雑誌・新聞・追録)	1,186,163 円	1,104,543 円	1,078,926 円	1,040,538 円	1,010,942 円	1,135,092 円	1,131,701 円	1,114,000 円
⑬購読雑誌及び新聞	雑誌87誌 新聞5紙	雑誌82誌 新聞5紙	雑誌81誌 新聞5紙	雑誌81誌 新聞5紙	雑誌82誌 新聞5紙	雑誌92誌 新聞6紙	雑誌92誌 新聞6紙	雑誌92誌 新聞7紙
⑭本館開館日数	277 日	279 日	280 日	241 日	253 日	259 日	277 日	278 日
⑮やまびこ号巡回日数(ステーション数22ヶ所)	121 日	111 日	123 日	110 日	121 日	127 日	143 日	155 日

1. 登録率(登録者数÷人口) (※町民登録率)	60.3 % (44.1 %)	58.7 % (42.7 %)	59.8 % (45.7 %)	60.7 % (45.6 %)	58.4 % (43.2 %)	59.9 % (43.7 %)	78.7 % (56.2 %)	76.8 % (52.2 %)
2. 住民一人当たりの貸出冊数(貸出冊数÷人口)	13.7 冊	14.0 冊	14.0 冊	14.7 冊	14.5 冊	14.0 冊	15.2 冊	14.3 冊
3. 登録者一人当たりの貸出冊数(貸出冊数÷登録者数)	22.7 冊	23.9 冊	23.5 冊	24.2 冊	24.9 冊	23.4 冊	19.3 冊	18.6 冊
4. 住民一人当たりの蔵書数(蔵書総数÷人口)	47.8 冊	46.5 冊	45.4 冊	44.4 冊	43.7 冊	42.5 冊	41.1 冊	40.3 冊
5. 住民一人当たりの資料購入費(図書購入費÷人口)	2,729 円	2,672 円	2,594 円	2,693 円	3,039 円	2,958 円	2,910 円	2,833 円
6. 奉仕見積り額(図書購入平均単価×貸出冊数)	70,203,084 円	66,163,622 円	67,415,720 円	73,167,696 円	68,034,708 円	66,517,139 円	71,110,400 円	69,390,990 円
7. 1日当たりの平均貸出冊数(貸出冊数÷稼働日数) 1) 本館 2) やまびこ号	118.5 冊 18.6 冊	125.4 冊 16.0 冊	129.9 冊 12.2 冊	155.3 冊 23.8 冊	151.4 冊 19.3 冊	146.3 冊 18.8 冊	153.7 冊 13.1 冊	149.0 冊 9.5 冊
8. 1日当たりの平均利用人数(延人数÷稼働日数) 1) 本館の来館者数 2) 本館の貸出利用者 3) やまびこ号の貸出利用者	48.7 人 24.1 人 8.2 人	46.4 人 24.7 人 7.6 人	41.2 人 25.5 人 5.1 人	43.3 人 30.4 人 7.5 人	44.3 人 29.7 人 5.9 人	61.0 人 32.6 人 6.9 人	65.5 人 35.2 人 5.6 人	66.1 人 34.6 人 4.6 人

【基礎数値】	H28年度	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度	H23年度	H22年度	H21年度	H20年度	H19年度
①人口	3,039 人	3,093 人	3,147 人	3,247 人	3,317 人	3,390 人	3,403 人	3,434 人	3,503 人	3,577 人
②新規登録者数	135 人 (町内65・町外70)	154 人 (町内77・町外77)	148 人 (町内85・町外63)	165 人 (町内86・町外79)	150 人 (町内82・町外68)	174 人 (町内102・町外72)	212 人 (町内101・町外111)	205 人 (町内106・町外99)	213 人 (町内120・町外93)	264 人 (町内155・町外109)
③登録者総数	2,224 人 (町内1,506・町外719)	2,222 人 (町内1,506・町外716)	2,876 人 (町内1,918・町外958)	2,818 人 (町内1,951・町外867)	2,668 人 (町内1,880・町外788)	2,548 人 (町内1,828・町外720)	2,420 人 (町内1,796・町外624)	2,210 人 (町内1,699・町外511)	2,164 人 (町内1,663・町外501)	2,191 人 (町内1,648・町外543)
④延利用人数	11,555 人 (本10,656・や899)	11,003 人 (本10,036・や967)	11,203 人 (本10,325・や878)	11,920 人 (本11,099・や821)	11,938 人 (本10,903・や1,035)	12,312 人 (本11,425・や887)	12,736 人 (本11,319・や1,417)	13,000 人 (本11,599・や1,401)	14,583 人 (本12,927・や1,656)	15,436 人 (本13,205・や2,231)
⑤本館来館者数	19,273 人	18,843 人	19,216 人	20,940 人	21,204 人	21,289 人	21,325 人	21,063 人	22,368 人	22,583 人
⑥貸出冊数～個人利用分～	47,160 冊 (本45,539・や1,621)	48,611 冊 (本46,504・や2,107)	48,167 冊 (本46,267・や1,900)	53,117 冊 (本50,882・や2,235)	51,811 冊 (本48,576・や3,235)	54,763 冊 (本50,958・や3,805)	54,402 冊 (本49,763・や4,639)	54,230 冊 (本50,005・や4,225)	59,928 冊 (本53,989・や5,939)	64,739 冊 (本57,085・や7,654)
⑦団体貸出	10,406 冊	10,795 冊	10,657 冊	11,041 冊	12,822 冊	12,066 冊	13,071 冊	14,546 冊	8,490 冊	9,812 冊
⑧蔵書総数	120,348 冊	120,380 冊	122,724 冊	124,217 冊	122,083 冊	121,422 冊	116,022 冊	110,800 冊	105,208 冊	100,165 冊
⑨図書購入総数	5,070 冊	5,135 冊	5,100 冊	5,336 冊	5,502 冊	5,260 冊	5,526 冊	5,393 冊	5,020 冊	5,539 冊
⑩図書購入平均単価	1,676 円	1,655 円	1,667 円	1,593 円	1,545 円	1,616 円	1,538 円	1,587 円	1,693 円	1,625 円
⑪図書購入費	8,499,948 円	8,499,996 円	8,499,930 円	8,499,976 円	8,499,784 円	8,499,940 円	8,499,996 円	8,559,947 円	8,499,981 円	8,999,967 円
⑫その他資料購入費	1,045,786 円	1,085,287 円	1,084,992 円	1,092,279 円	1,134,823 円	1,098,479 円	1,418,506 円	1,357,051 円	1,358,000 円	1,360,406 円
⑬購読雑誌及び新聞	雑誌91誌 新聞7紙	雑誌89誌 新聞7紙	雑誌89誌 新聞7紙	雑誌89誌 新聞7紙	雑誌89誌 新聞7紙	雑誌86誌 新聞7紙	雑誌85誌 新聞7紙	雑誌96誌 新聞7紙	雑誌89誌 新聞7紙	雑誌92誌 新聞7紙
⑭本館開館日数	279 日	280 日	277 日	279 日	282 日	282 日	283 日	280 日	280 日	279 日
⑮やまびこ号巡回日数	154 日	148 日	153 日	160 日	158 日	148 日	155 日	152 日	142 日	120 日

※平成２７年４月 図書館条例施行										
1. 登録率 (※町民登録率)	73.2 % (49.5 %)	71.8 % (48.7 %)	91.3 % (60.1 %)	86.8 % (60.0 %)	80.4 % (56.7 %)	75.2 % (53.9 %)	71.1 % (52.8 %)	64.4 % (49.5 %)	61.8 % (47.5 %)	61.3 % (46.1 %)
2. 住民一人当たりの貸出冊数	15.5 冊	15.7 冊	15.3 冊	16.3 冊	15.6 冊	16.2 冊	15.9 冊	15.8 冊	17.1 冊	18.1 冊
3. 登録者一人当たりの貸出冊数	21.2 冊	21.9 冊	16.7 冊	18.8 冊	19.4 冊	21.5 冊	22.4 冊	24.5 冊	27.7 冊	29.5 冊
4. 住民一人当たりの蔵書冊数	39.6 冊	38.9 冊	38.9 冊	38.3 冊	36.8 冊	35.8 冊	34.1 冊	32.3 冊	30.0 冊	28.0 冊
5. 住民一人当たりの資料購入費	2,797 円	2,748 円	2,701 円	2,617 円	2,562 円	2,507 円	2,498 円	2,493 円	2,426 円	2,516 円
6. 奉仕見積り額	79,064,605 円	80,421,205 円	80,294,389 円	84,615,381 円	80,047,995 円	88,497,008 円	83,670,276 円	86,063,010 円	101,458,104 円	105,200,875 円
7. 1日当たりの平均貸出冊数										
1) 本館	163.2 冊	166.0 冊	167.0 冊	182.4 冊	172.3 冊	180.7 冊	175.8 冊	178.6 冊	192.8 冊	204.6 冊
2) やまびこ号	10.5 冊	14.2 冊	12.4 冊	14.0 冊	20.5 冊	25.7 冊	29.9 冊	27.8 冊	41.8 冊	63.8 冊
8. 1日当たりの平均利用人数										
1) 本館の来館者数	69.1 人	67.3 人	69.4 人	75.1 人	75.2 人	75.5 人	75.4 人	75.2 人	79.9 人	80.9 人
2) 本館の貸出利用者	38.2 人	35.8 人	37.3 人	39.8 人	38.8 人	40.5 人	40.0 人	41.4 人	46.2 人	47.3 人
3) やまびこ号の貸出利用者	5.8 人	6.5 人	5.7 人	5.1 人	6.6 人	9.1 人	9.2 人	11.7 人	18.6 人	18.7 人

【基礎数値】	H18年度	H17年度
①人口	3, 629 人	3, 736 人
②新規登録者数	301 人 (町内169・町外132)	408 人 (町内250・町外158)
③登録者総数	2, 094 人 (町内1, 682・町外412)	1, 956 人 (町内1, 621・町外335)
④延利用人数	15, 552 人 (本13, 367・や2, 185)	17, 076 人 (本14, 892・や2, 184)
⑤本館来館者数	23, 869 人	26, 732 人
⑥貸出冊数～個人利用分～	68, 158 冊 (本60, 276・や7, 882)	74, 261 冊 (本66, 302・や7, 959)
⑦団体貸出	11, 274 冊	10, 560 冊
⑧蔵書総数	95, 090 冊	90, 761 冊
⑨図書購入総数	5, 590 冊	7, 691 冊
⑩図書購入平均単価	1, 610 円	1, 950 円
⑪図書購入費	8, 999, 862 円	14, 999, 589 円
⑫その他資料購入費	1, 484, 647 円	1, 453, 637 円
⑬購読雑誌及び新聞	雑誌92誌 新聞7紙	雑誌90誌 新聞7紙
⑭本館開館日数	278 日	278 日
⑮やまびこ号巡回日数	117 日	126 日

※平成１６年１０月生涯学習情報センター条例施行

１．登録率	57. 7 %	52. 4 %
（※町民登録率）	(46. 3 %)	(43. 4 %)
２．住民一人当たりの貸出冊数	18. 8 冊	19. 8 冊
３．登録者一人当たりの貸出冊数	32. 5 冊	38. 0 冊
４．住民一人当たりの蔵書冊数	26. 2 冊	24. 3 冊
５．住民一人当たりの資料購入費	2, 480 円	4, 015 円
６．奉仕見積り額	109, 734, 380 円	144, 808, 950 円
７．１日当たりの平均貸出冊数		
１）本館	216. 8 冊	238. 5 冊
２）やまびこ号	67. 4 冊	63. 2 冊
８．１日当たりの平均利用人数		
１）本館の来館者数	85. 9 人	96. 2 人
２）本館の貸出利用者	48. 1 人	53. 6 人
３）やまびこ号の貸出利用者	17. 3 人	

4. 資料の購入計画・実績一覧

分 類	R 6 年 度購入 計画	R 6 年 度購入 実績	R 5 年 度購入 計画	R 5 年 度購入 実績	R 4 年 度購入 計画	R 4 年 度購入 実績	R 3 年 度購入 計画	R 3 年 度購入 実績	R 2 年 度購入 計画	R 2 年 度購入 実績	R 元 年 度購入 計画	R 元 年 度購入 実績	H 3 0 年度購 入計画	H 3 0 年度購 入実績	H 2 9 年度購 入計画	H 2 9 年度購 入実績	H 2 8 年度購 入計画	H 2 8 年度購 入実績	H 2 7 年度購 入計画	H 2 7 年度購 入実績	H 2 6 年度購 入計画	H 2 6 年度購 入実績
H・K（郷土資料）	10	10	10	6	10	3	15	4	10	14	20	4	20	10	10	8	20	11	20	5	10	12
O（総記）	40	42	40	68	40	90	50	58	60	83	60	73	60	70	60	67	60	70	60	65	60	68
1（哲学・宗教）	65	61	65	75	65	107	70	90	90	93	100	107	90	96	100	103	90	95	90	88	100	101
2（歴史・紀行）	180	166	180	211	180	205	175	189	210	209	220	224	210	243	220	240	220	219	210	212	220	232
3（社会科学）	400	361	400	411	400	427	370	404	470	486	470	486	490	526	480	527	480	477	500	505	500	483
4（自然科学・医学）	240	213	240	234	240	272	245	255	310	326	300	311	310	328	310	317	300	321	310	325	310	325
5（家事・工学）	300	255	300	326	300	312	380	383	480	481	480	485	460	496	470	515	470	478	460	468	470	469
6（産業）	190	152	190	176	190	154	170	176	220	217	210	204	220	233	210	216	220	212	220	236	210	231
7（芸術・スポーツ）	250	189	250	226	250	261	310	294	390	385	390	385	380	414	390	393	390	409	390	409	390	396
8（言語）	30	30	30	27	30	41	40	41	50	48	40	44	50	48	50	48	50	49	50	49	50	44
9（文学）	930	751	930	762	930	751	940	928	1,170	1,149	1,170	1,198	1,120	1,180	1,140	1,161	1,140	1,193	1,080	1,125	1,080	1,087
一般書計	2,635	2,230	2,635	2,522	2,635	2,623	2,765	2,822	3,460	3,491	3,460	3,521	3,410	3,644	3,440	3,595	3,440	3,534	3,390	3,487	3,400	3,448
E（絵本）	1,290	434	1,290	510	1,290	483	1,140	446	1,430	569	1,430	560	1,480	617	1,460	672	1,460	540	550	614	550	562
J（児童）		774		813		788		678		924		964		948		895		903	950	931	950	1,000
P（紙芝居）	30	26	30	24	30	34	30	28	30	24	30	24	30	24	30	24	30	25	30	23	30	24
児童書計	1,320	1,234	1,320	1,347	1,320	1,305	1,170	1,152	1,460	1,517	1,460	1,548	1,510	1,589	1,490	1,591	1,490	1,468	1,530	1,568	1,530	1,586
D・V（視聴覚資料）	45	35	45	21	45	5	65	55	80	70	80	76	80	78	70	65	70	68	80	80	70	66
合計	4,000	3,499	4,000	3,890	4,000	3,933	4,000	4,029	5,000	5,078	5,000	5,145	5,000	5,311	5,000	5,251	5,000	5,070	5,000	5,135	5,000	5,100

寄贈図書受入冊数	251	86	131	323	404	1,008	384	510	523	361	346
除籍冊数	2,873	4,629	4,064	5,046	5,511	4,825	5,620	5,356	5,625	7,840	6,939
年度末蔵書冊数[冊]	122,636	121,759	122,412	121,433	122,127	122,156	120,828	120,753	120,348	120,380	122,724

図書購入予算額[円]	7,000,000	7,000,000	7,000,000	7,360,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000
図書購入決算額[円]	6,999,968	6,999,992	6,999,934	7,359,862	8,499,906	8,496,643	8,496,604	8,494,908	8,499,948	8,499,996	8,499,930
雑誌・新聞・紙芝居等 購入決算額[円]	1,186,163	1,104,543	1,078,926	1,040,538	1,010,942	1,135,092	1,131,701	1,113,050	1,045,786	1,085,287	1,084,992

*予算額のうち360千円はコロナ対策費

*図書購入費：基本計画計上額⇒ 10,800,000 10,800,000

分 類	H 2 5 年度購 入計画	H 2 5 年度購 入実績	H 2 4 年度購 入計画	H 2 4 年度購 入実績	H 2 3 年度購 入計画	H 2 3 年度購 入実績	H 2 2 年度購 入計画	H 2 2 年度購 入実績	H 2 1 年度購 入計画	H 2 1年 度購入 実績	H 2 0 年度購 入計画	H 2 0 年度購 入実績	H 1 9 年度購 入計画	H 1 9 年度購 入実績	H 1 8 年度購 入計画	H 1 8 年度購 入実績	H 1 7 年度購 入計画	H 1 7 年度購 入実績
H・K（郷土資料）	20	27	10	25	20	30	10	14	15	5	10	15	20	8	20	15	30	21
O（総記）	60	78	60	63	60	70	60	65	60	71	60	55	80	64	70	72	100	105
1（哲学・宗教）	90	97	90	115	90	104	100	99	90	148	90	101	100	95	80	122	160	193
2（歴史・紀行）	220	242	150	215	250	236	250	269	240	273	240	189	250	250	230	232	430	390
3（社会科学）	500	529	500	553	500	533	520	555	530	527	550	447	540	593	470	671	710	875
4（自然科学・医学）	300	314	300	330	310	323	310	336	320	308	340	300	290	400	270	306	370	426
5（家事・工学）	470	516	385	516	450	461	445	521	420	489	390	457	350	458	320	420	540	500
6（産業）	220	241	185	205	180	184	185	222	180	233	180	197	190	194	180	208	330	308
7（芸術・スポーツ）	380	397	380	405	390	400	390	417	390	434	390	391	400	425	390	388	600	628
8（言語）	50	54	60	63	50	64	50	49	50	56	60	46	50	70	50	63	90	70
9（文学）	1,080	1,127	1,110	1,253	1,070	1,130	1,060	1,140	1,075	1,117	1,060	1,084	1,100	1,236	1,050	1,195	1,900	1,980
一般書計	3,390	3,622	3,230	3,743	3,370	3,535	3,380	3,687	3,370	3,661	3,370	3,282	3,370	3,793	3,130	3,692	5,260	5,496
E（絵本）	550	545	620	628	600	600	570	642	600	601	600	713	600	646	600	660	800	869
J（児童）	950	1,075	1,020	1,012	910	985	930	1,096	880	1,007	880	924	870	939	810	985	1,500	1,046
P（紙芝居）	40	24	60	53	50	50	40	30	50	24	50	28	60	63	60	53	90	72
児童書計	1,540	1,644	1,700	1,693	1,560	1,635	1,540	1,768	1,530	1,632	1,530	1,665	1,530	1,648	1,470	1,698	2,390	1,987
D・V（視聴覚資料）	70	70	70	66	70	90	80	71	100	100	100	73	100	98	100	200	150	208
合計	5,000	5,336	5,000	5,502	5,000	5,260	5,000	5,526	5,000	5,393	5,000	5,020	5,000	5,539	4,700	5,590	7,800	7,691

寄贈図書受入冊数	613	769	536	202	850	733	191	238	307
除籍冊数	3,323	5,610	396	506	651	736	694	1,499	1,398
年度末蔵書冊数〔冊〕	124,217	122,083	121,422	116,022	110,800	105,208	100,165	95,090	90,761

図書購入予算額[円]	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,600,000	8,500,000	9,000,000	9,000,000	15,000,000
図書購入決算額[円]	8,499,976	8,499,784	8,499,940	8,499,996	8,559,947	8,499,981	8,999,967	8,999,862	14,999,589
雑誌・新聞・紙芝居等 購入決算額[円]	1,092,279	1,134,823	1,098,479	1,418,506	1,357,051	1,358,000	1,360,406	1,484,647	1,453,637

[illegible]